

コミュニケーション能力の向上に向け「幼児健診質問票」をウェブ化 ～全国に先駆けて母子手帳アプリに追加～

7月1日から本市で運用を開始した母子手帳アプリ「母子モ(※パッケージシステム)」。
このアプリ提供会社と協働し、全国に先駆けて幼児健診質問票をウェブ化した。質問票の
運用開始は8月の健診分から。“いつでも、どこでも回答できる質問票”を目指す。

1 母子手帳アプリ

(1) 名称

とよおか子育てアプリ



二次元バーコード

(2) 機能

母と子の健康データを簡単に記録・管理できる電子版母子手帳サービス。母子手帳を補完するものとして利用する。

保護者が、郵便番号、子どもの生年月日、ニックネーム等を入力して利用する。

ア 妊娠中の健康記録

妊婦健診の結果の記録や、エコー写真をカメラで撮り画像を保存する。



妊娠中の健康記録画面（イメージ）

イ 予防接種管理

誕生日と接種状況に応じて、最適な予防接種のスケジュールをお知らせする。受け忘れや接種誤りを防止できる。



予防接種管理画面（イメージ）

ウ 乳幼児健診記録

受診した健診結果を記録する。身長・体重を入力すると、誕生日と受診日から身長、体重をグラフ化できる。



乳幼児健診記録画面（イメージ）

エ 健診日程、地域の子育て情報配信

健診日程が確認できる。また豊岡市の子育て情報、市からのお知らせを配信する。



地域の子育て情報配信画面（イメージ）

2 新たに開発した機能「幼児健診質問票」

従来の幼児健診の質問票（現病歴、言葉など成長発達、食事などの生活の様子）は、紙面のみであった。今回、発達障害の特徴をより詳細に捉えることのできる世界基準のスクリーニング指標（質問項目）を、新たに1歳6か月児健診に追加することにあわせて、従来の質問とスクリーニング指標の回答をウェブ化した。保護者の利便性向上と、発達障害の可能性のある幼児を相談支援に、早く、確実につなぐ。

(1) 対象健診等

- ア 1歳6か月児健診 質問票(79問)
- イ 3歳児健診 質問票(91問)

(2) 運用開始

2020年8月4日の健診日

《参考》

2019年度の幼児健診

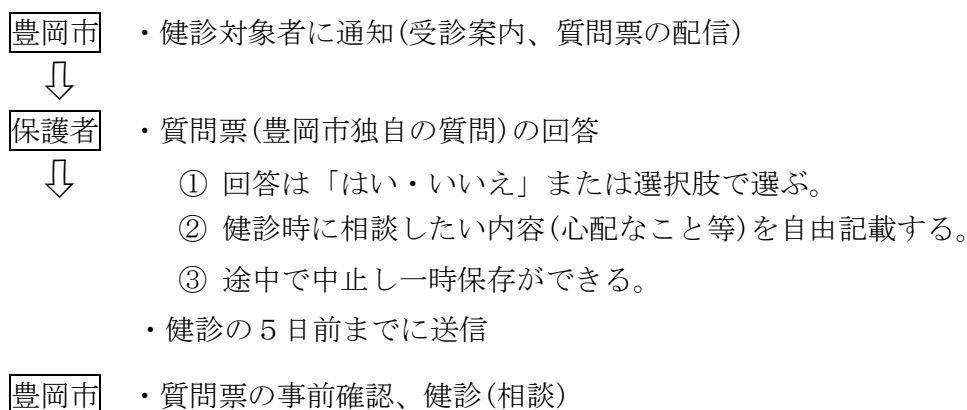
54回（1,080人）

※ 2020年度は36回（786人）となる。



幼児健診質問票回答画面（イメージ）

(3) 回答から健診までの流れ



(4) 目指す効果

ア 相談の充実

- (ア) 質問票の事前確認が可能となり、課題の整理、解決すべき問題点の確認、対応内容等の事前準備ができる。
- (イ) 保護者と児の問題に焦点を合わせた丁寧な相談支援ができる。
- (ウ) 詳細なスクリーニング指標の導入により、発達障害の可能性の推測の精度が上がり、発達に課題のある児の早期発見が可能となる。

イ 早期支援の実現

保護者と課題を共有し、児の心身の発達を促す支援へ早期に導くことができる。

(5) 開発運営会社(開発費負担)

(株)エムティーアイ

(東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー35階)

[問合せ] 豊岡市健康増進課おやこ支援室 TEL0796-24-9604